八ちん
魯文
芳幾
国
栄孝堂棒
三拾編下

この女
三拾編上

この女
たゝみ
乙拾編上

A388
5

# 八犬傳

## 曾文録 芳賀画

芳丸写

三拾編上

廣岡

48-7606



大星氏寺岡ふ對ーて曰其元ハ足輕でいるふそ。大きゐ口輕ゑ。ナント牽頭持ゑ。ゑれぬ。ト云仕去る嘉永の季歳毫採初一代記。

抄録物ゑ登庸ア足輕ゑ。で口徑ふ漫題きいの筆頭幇間。太郎次郎の犬の皮太鼓ふ張ゑ鈍作の餘業ふ録ゑ八犬傳ゑ昔採ゑる杵屋ゑ三弦他人の作意を中途ゑ。編次ゑ。ゑる苦心ハ一ツと。勿体らしくゑ。ゑめゑ世ど。抄録物の哀さふハ一帙上下の潤筆ゑ。

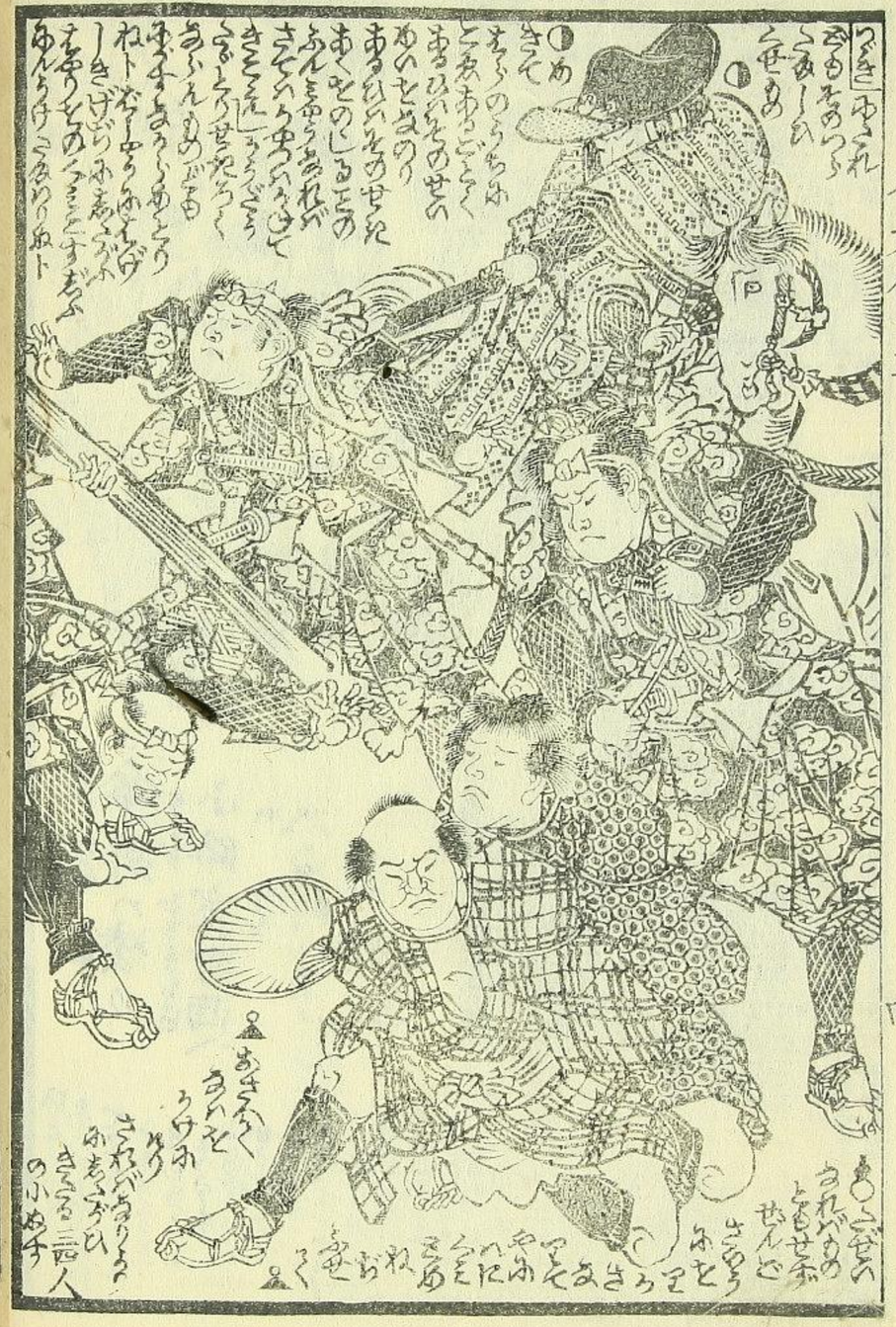
鉢ナ坊主の報謝米惜ら口ふ風ゑ。ゑ。ゑぬ迹懐も九太夫ゑ。歯の犬ゑ因ゑ。ゑ。我別号の假名手本義士と犬士の響ふゑん

魯文記

濱路姫
平田張盆作

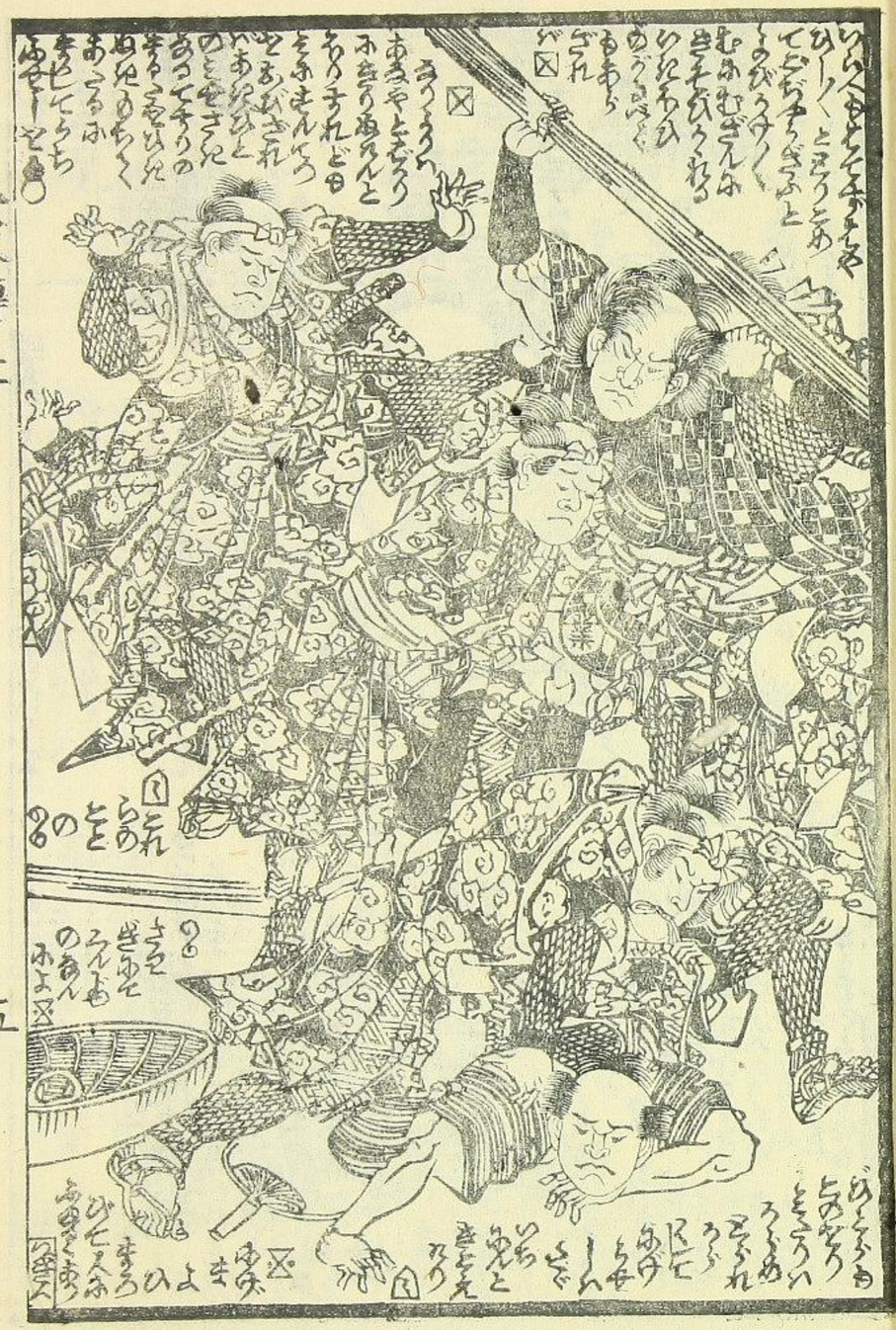
里見義成

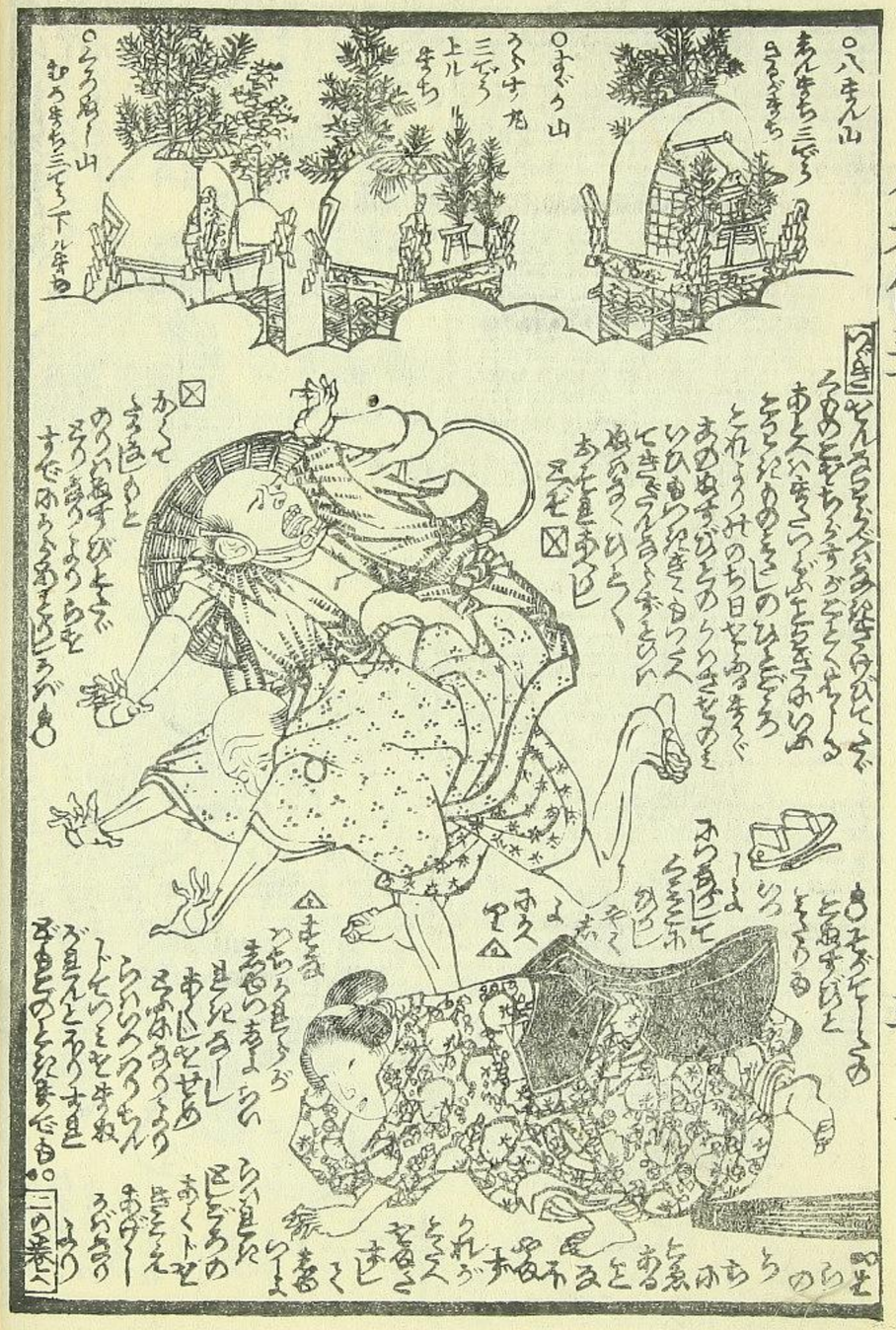
傘鉾へ綾の小路室町西へ入る町より出る











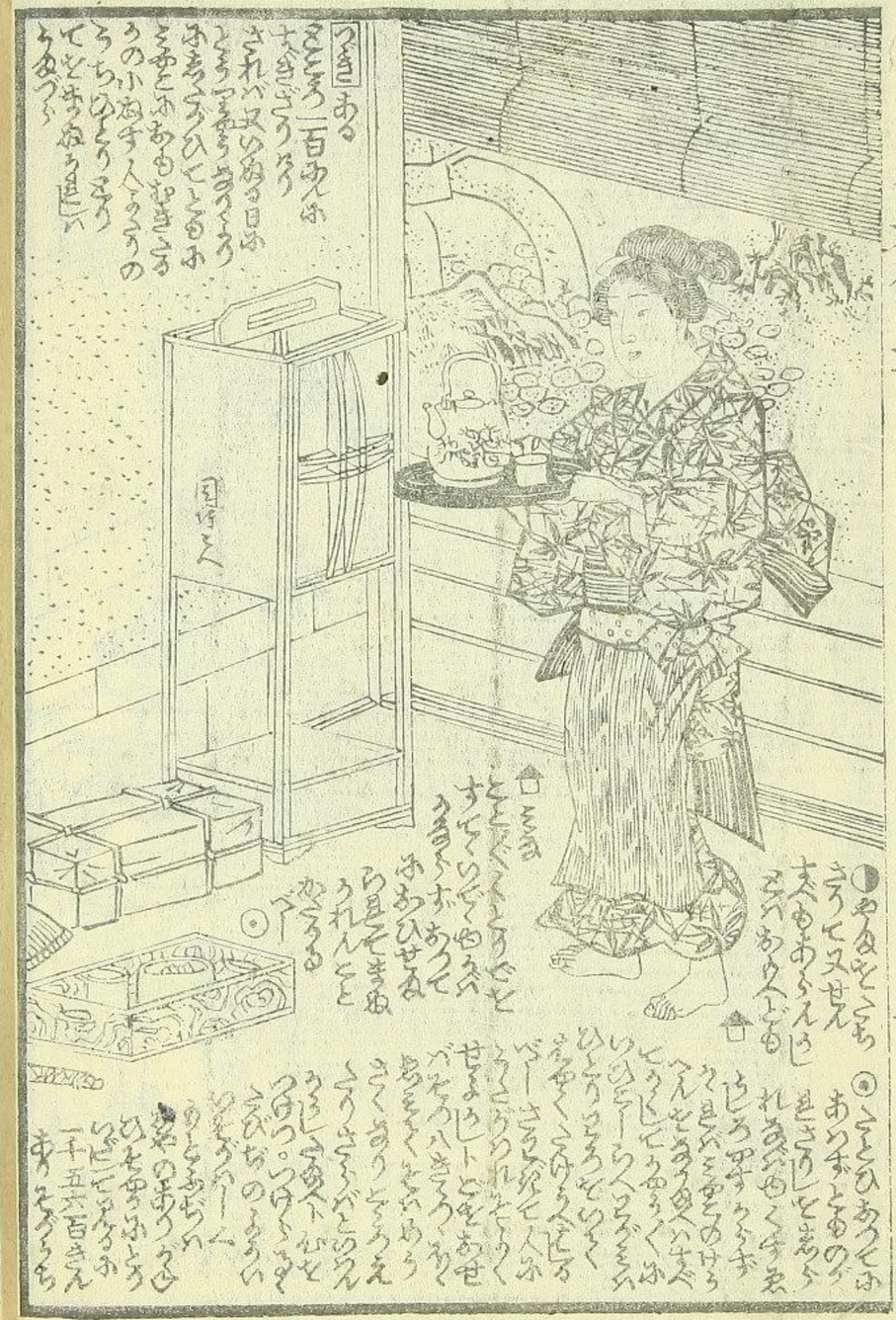
○八幡山

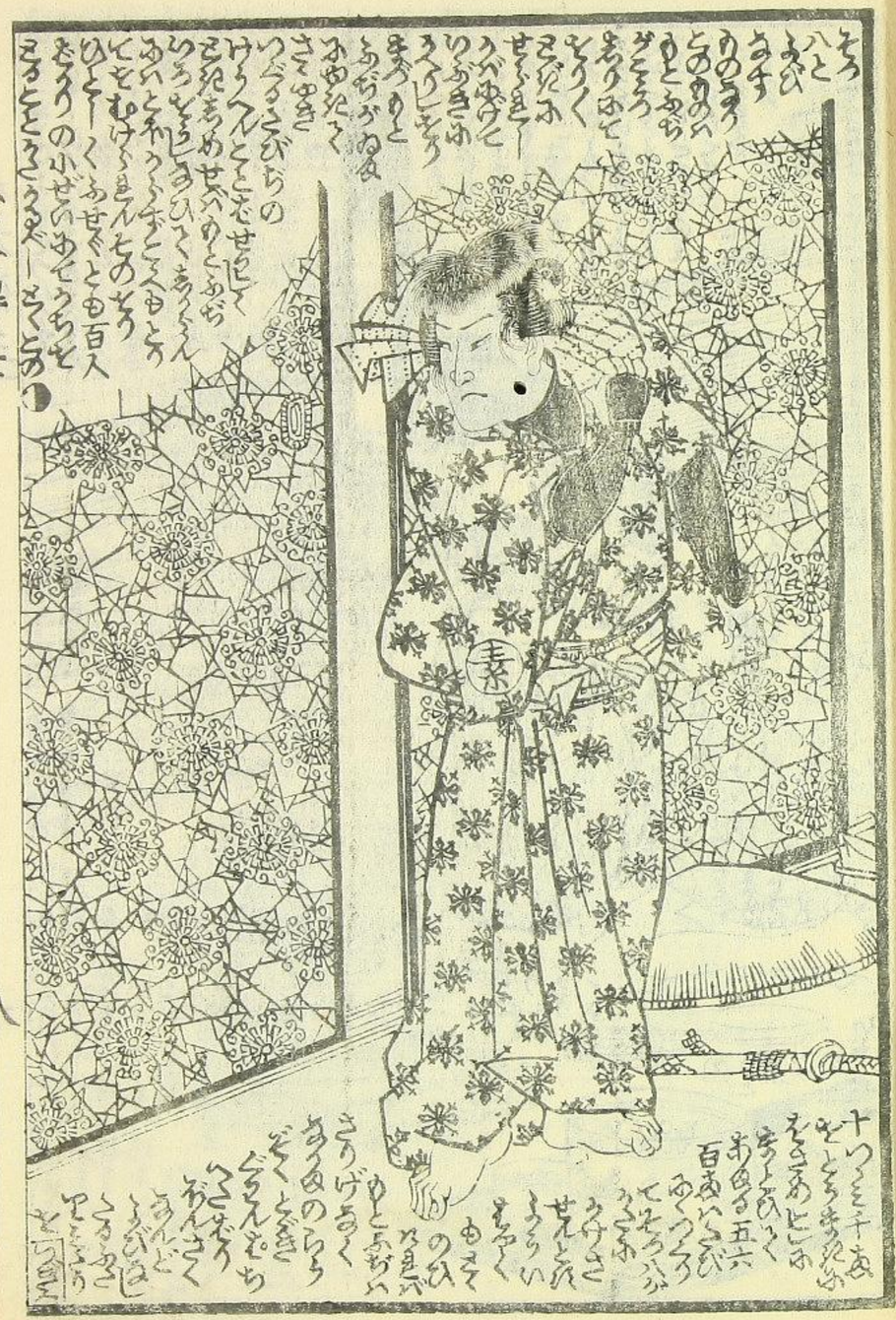
○すぐう山

○ろろ屋ー山

○馬面卒八

虎口を遁て
騰吹山の巣穴へ
帰るこゝろを
本文ふえゝ





おつゝぬひ譚 五拾四編ヨリ 柳亭種彦作 六十編マテ 一恵齋芳幾画

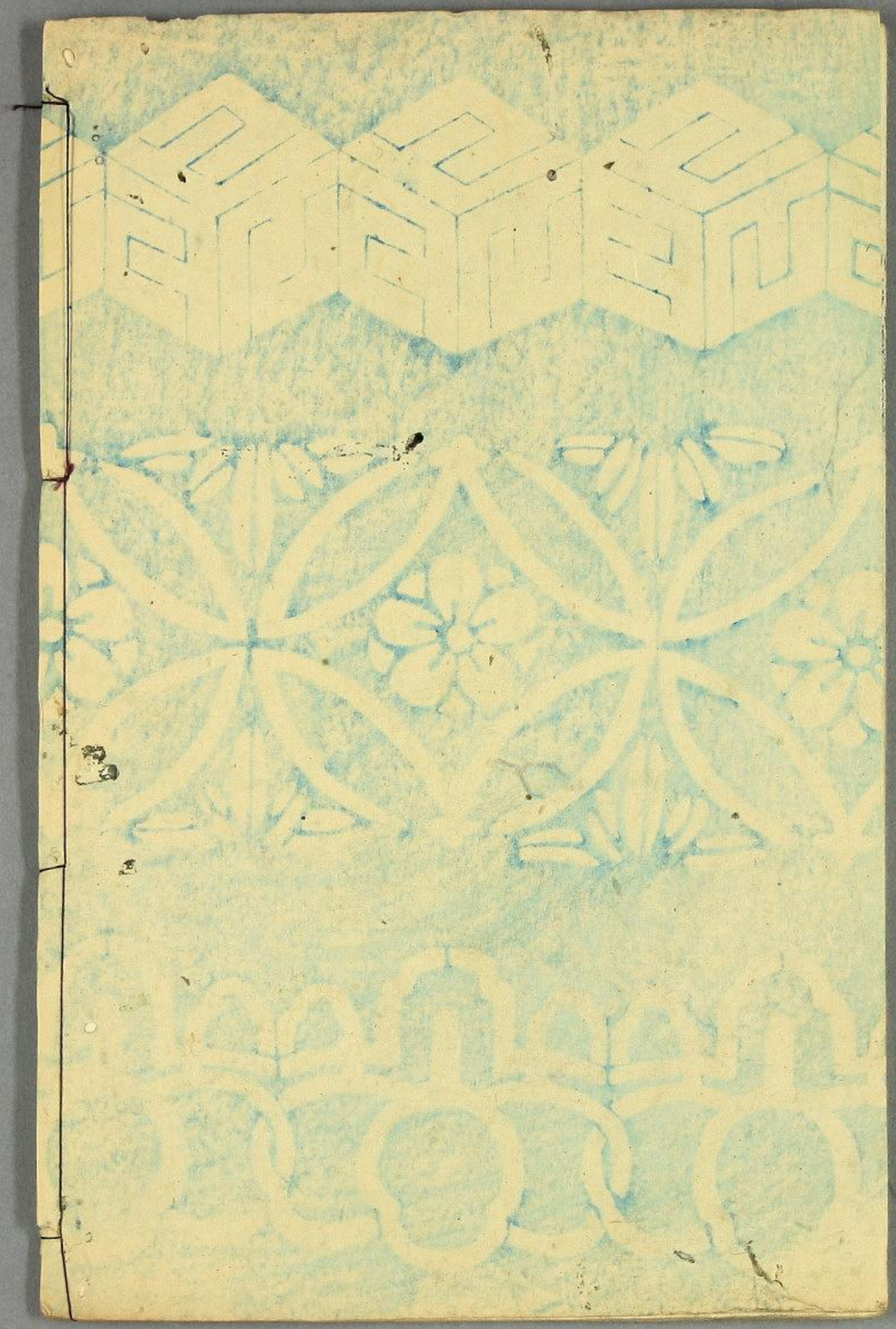
兩面織花田物語 初編ヨリ 同 五編迄 同 作 近刻 画

假名讀八犬傳 三十編ヨリ 假名垣魯文録 三十五編マテ 朝霞樓芳幾画

古今俳優似顔大全 故豐國公羽筆 大錦百三番續

太平記英勇傳 中錦山々亭有人記 百番續 恵齋芳幾圖

010190518120



八まん作

魯文

芳幾

緑亜

榮壽堂梓

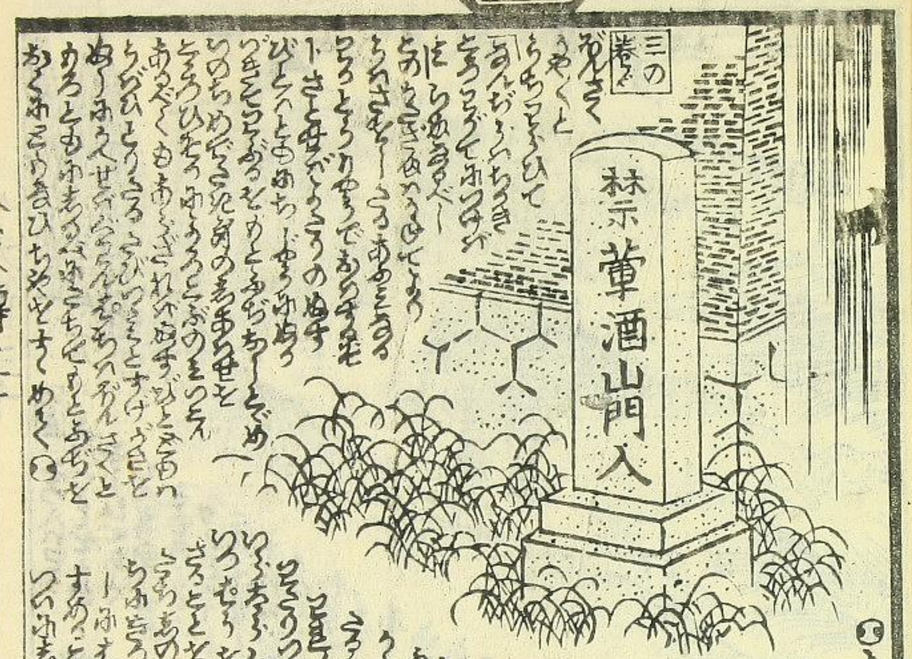
三拾編下

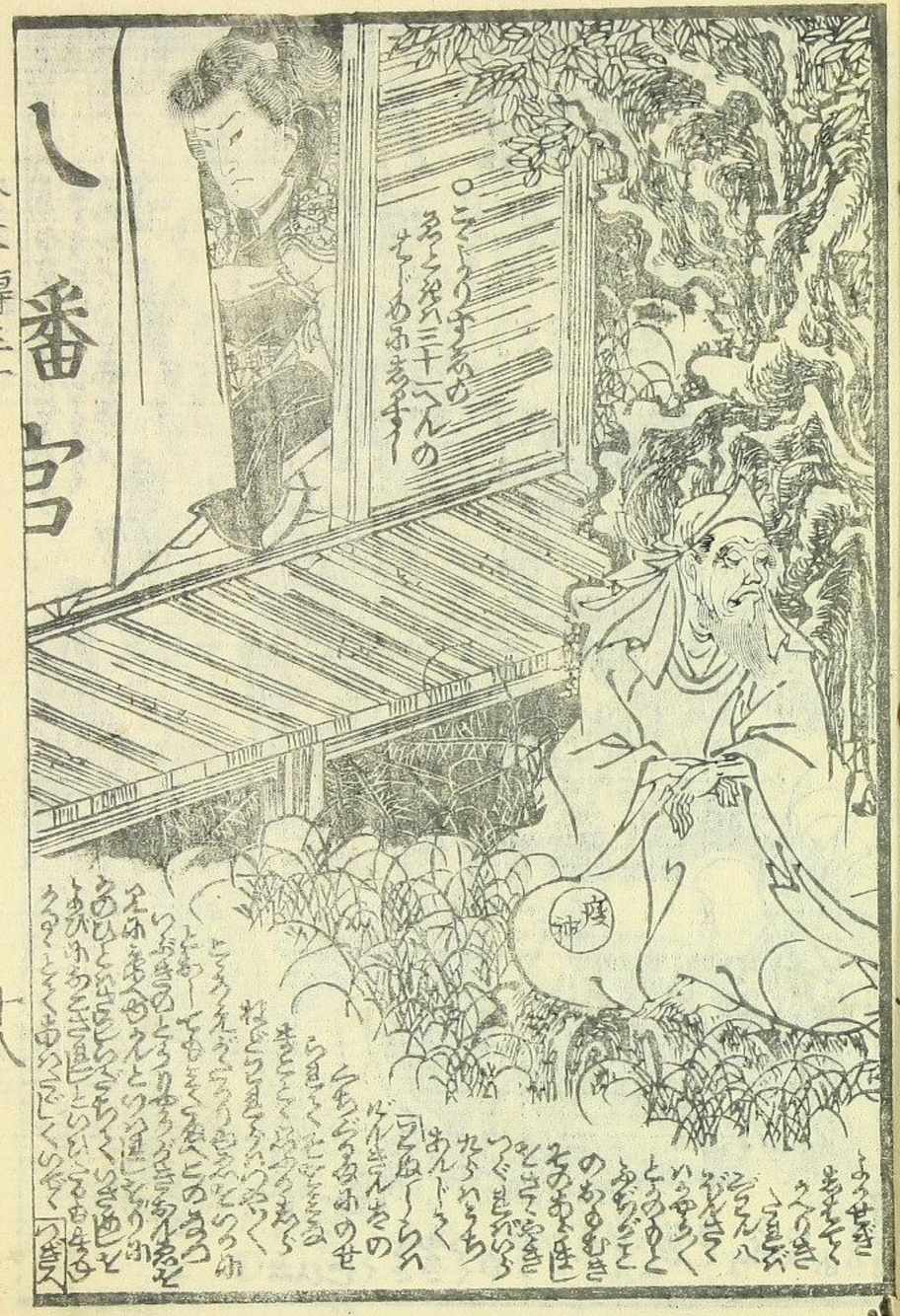
A 388
6

48-7607

つゞき
八犬傳三


三界
八犬傳三


禁葷酒山門入


一番宮
疫神

あきぐれ
二十一
○此繪八月解
あんどう
編み
せて

# 魯文抄録

芳幾画圖

朝霞楼芳幾画

名誉の義士八　柿本金輔

名誉の孝女八　村上玉於市

# 浪華黄金魚

三編　讀切　假名垣魯文　作

山々亭有人　恵齋芳幾　合

梅素玄魚　松湖交來　其水

一対男の縁の因に戯作劇場の一様の竹林あらぬ七軒人が一回五葉を持きうの合作全備の三編冊

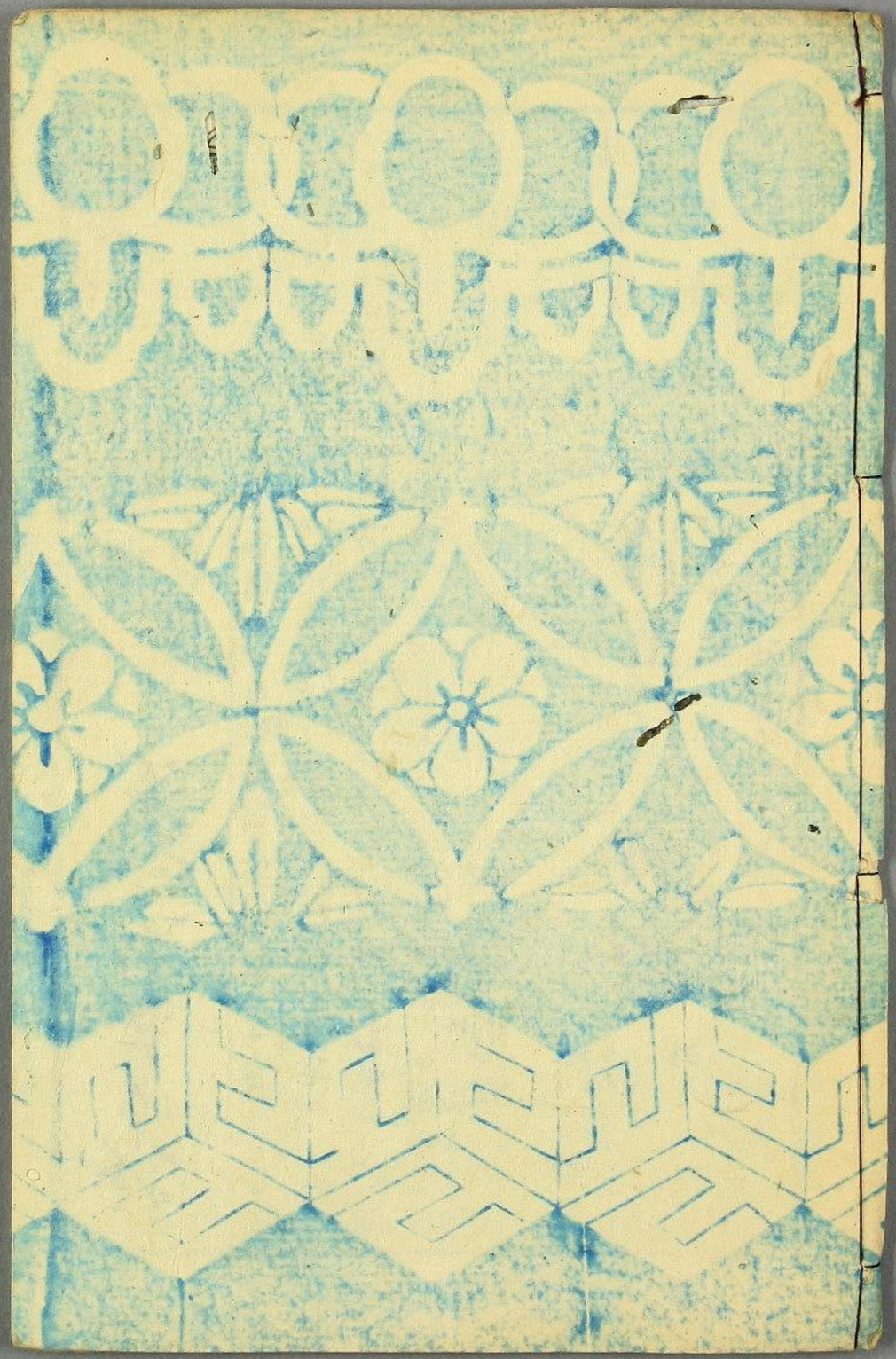
初編　五冊　其水作同十二冊也　如皇作

二編　初二冊　五冊迄　有人作同十冊迄　魯文作同十冊迄

三編　初一冊　五冊迄　如皇作同十冊迄　魯文作同十冊迄　芳幾作同十冊迄　其水作同十冊迄　有人作同十冊迄　如皇作同十冊迄　其水如斯の持場成定め一豆の筆力をたくし浮當藏板のちらぬ人同様御高評心布ふ

地本草紙問屋　江戸小川佐賀町　廣岡孟壽助梓

010190518138



# 假名續八犬傳 之拾編

假名垣魯文録
一壺齋芳幾畫

東京 西宮八郎